

令和6年度 長井市教育委員会 重点施策の取り組み内容等と評価

目標1 豊かに生きる力・しなやかな心を持つ子供を育むまち

基本施策1 子供たちが笑顔で楽しく過ごせる学びの場づくり

- | | | |
|----------------------------|-------------|----|
| (1) 夢を実現する力の育成 | 【学 校 教 育 課】 | P1 |
| (2) 多様性を尊重した特別支援教育の推進 | 【学 校 教 育 課】 | P2 |
| (3) GIGA スクール構想と ICT 教育の推進 | 【学 校 教 育 課】 | P3 |
| (4) 心と体の健やかな成長の推進 | 【学 校 教 育 課】 | P3 |
| (5) 教職員研修の充実と指導力の向上 | 【学 校 教 育 課】 | P3 |

基本施策2 子供たちが安全で快適に過ごせる学校環境の整備

- | | | |
|--------------------|-------------|----|
| (1) 安全・快適な学校環境の整備 | 【教 育 総 務 課】 | P4 |
| (2) 安全安心なスクールバスの運行 | 【教 育 総 務 課】 | P5 |
| (3) 安全でおいしい給食の提供 | 【給食共同調理場】 | P6 |

目標2 学校・家庭・地域が連携・協働するやさしいまち

基本施策3 学校と地域が共に子供を育む教育の推進

- | | | |
|------------------------|-------------------|-----|
| (1) スクール・コミュニティの推進 | 【学 校 教 育 課】 | P9 |
| (2) 地域と学校の協働活動の充実 | 【地域づくり推進課生涯学習推進室】 | P9 |
| (3) 家庭と地域の教育力の向上 | 【地域づくり推進課生涯学習推進室】 | P10 |
| (4) 中学生のスポーツ・文化活動の地域連携 | 【学 校 教 育 課】 | P11 |

※上記の表題は令和6年度版『長井市の教育』に沿ったものです。

なお、『長井市の教育』に記載のある重点施策であっても、市長部局に権限がある施策の評価・記載は本書では扱いません。

令和7年6月
長井市教育委員会

【参考】令和6年度の評価と事業方針の見方について

・令和6年度版「長井市の教育」に記載している重点項目を記載しています。

・主要な施策を記載しています。
・()内には予算や委託料等の金額を記載しています。

・会議回数、大会回数、参加者数、合格者数、合格率等の実績値を記載しています。
・支払額や決算額を実績値としている場合は(〇〇円)と記載しています。

【○】事業を実施した結果、良かった点があれば○とし、どんな点が良かったのかを記載しています。
【△】事業を実施した結果、少々の課題があった場合は△とし、課題の内容や改善の方向性を記載しています。
【×】事業を実施した結果、明らかな失敗や大きな問題があった場合は×とし、その内容を記載しています。

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①		●..... (.....千円) ●..... (.....千円)	●..... ●.....	【○】..... 【△】..... 【×】.....	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

この欄は、令和7年度の事業方針または予算措置について、
①予算面と②人的配置・取組の2つの視点により、下記の基準に照らし合わせて選択しています。

選択肢	① 予算面		② 人的配置・取組
A:重点化	R7年度予算がR6年度よりも大幅に増額の場合	又は	評価に関わらず、R7年度はR6年度よりも特に注力すべき、と考えている場合
B:要改善	—	又は	評価の欄に【△】または【×】があり、R7年度はR6年度よりも改善を目指し注力すべき、と考えている場合
C:継続	R7年度予算がR6年度と同程度の場合	又は	R7年度もR6年度と同レベルで継続して取り組むべき、と考えている場合
D:縮小化	R7年度予算がR6年度よりも大幅に減額の場合 例)施設整備において工事が完了した場合	又は	R7年度はR6年度よりも取組レベルを縮小、と考えている場合 例)重要な計画の策定が完了し、計画期間に移行した場合
E:廃止	R6年度の予算にあった事業名称等がR7年度の予算から消えた場合 例)施設整備事業において工事が完了し、予算の枠組み上、事業名称が廃止となった場合	—	—

『長井市の教育』目標1 「豊かに生きる力・しなやかな心を持つ子供を育むまち」

< 令和6年度 学校教育の目標と重点 >

年度重点 i 確かな学力の育成

ii 多様性を尊重した特別支援教育の推進

iii スクール・コミュニティの推進

基本施策1 子供たちが笑顔で楽しく過ごせる学びの場づくり

(1) 夢を実現する力の育成 **《重点 i》** 【学校教育課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①	確かな学力の育成 子供たちが、それぞれの夢の実現を目指す上で必要な力を身に付けていくため、学ぶことへの意欲や自己肯定感の高まりとともに、「学校が楽しい！」と思える子供を育成します。	●教育振興事業（小・中） (56,777 千円) ●指導主事等派遣事業	●各学校の授業研究の充実のため、指導主事の派遣や市研による大学教授等の派遣により、助言・指導を行うことで、教員の指導力向上を図り、子供たちの学びを支えた。	【○】 各校の授業研究計画に沿って指導主事や大学教授等を派遣することができたことで、教員の専門性を高めることができた。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止
②	英語教育の充実 多様性を理解し尊重する豊かな人格形成と国際社会で活躍できる人材育成に向けて、ALT や地域の人材を活用し、発達段階に応じたコミュニケーション能力を育成します。	●外国語指導助手派遣事業 (43,437 千円) ●英語力向上推進事業(小・中) (1,737 千円)	●各校への ALT 派遣を継続するとともに、幼児施設への派遣や長期休業中にイベント実施など、子供たちが日常的に外国語によるコミュニケーションを行う機会を創出した。 ●英検受験補助は、76 名に対して実施した。	【○】 小中学校以外の場合でも ALT との交流の輪が広がっており、継続して実施したことで回数を重ねるごとに子供たちのコミュニケーション能力の向上が見られた。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止
③	キャリア教育の充実 夢や目標に向かって挑戦し、その実現を目指す子供たちが、自分らしい生き方を実現していく教育を実践	●総合的な学習・キャリア教育の充実 ●職場体験事業の実施 ●修学旅行地域間交流支援	●市内事業所の協力により、中学生の職場体験事業を実施した。(協力事業所 86 社) ●修学旅行は、市と交流のある大田区に行き、最先端の産	【○】 生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につける機会となった。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

	します。	事業 (153 千円)	業等に触れる機会となった。		
--	------	----------------	---------------	--	--

(2) 多様性を尊重した特別支援教育 **《重点 ii》** 【学校教育課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7 年度予算)
①	インクルーシブ教育の推進と切れ目ない支援の充実 子供を真ん中に据え、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの実現に向けて推進していきます。	●特別支援教育バックアップ事業 (362 千円) ●就学支援事業 (25, 200 千円)	●多様な子供たちがともに学ぶ学校の在り方について、専門家による指導に基づく研修会や学校訪問による直接指導を実施した。	【○】 定期的な巡回相談や研修の機会を設けてきたことで、効果的な支援について継続して検証、改善することができた。	A: 重点化 B: 要改善 C: 継続 D: 縮小化 E: 廃止
②	一人ひとりのニーズに寄り添う支援の充実 多様なニーズに対応し支援するための人員の配置や研修を実施し、子供を真ん中に据えた支援の理解や支援体制の構築を進めていきます。	●教育相談員活用事業 (2, 770 千円) ●スクールカウンセラー派遣事業 (59 千円) ●幼保小等連携専門員派遣事業 (3, 241 千円)	●困り感を抱える児童生徒や保護者に対して、教育相談員が丁寧に寄り添い、別室での学習やほっとなるスクールでの活動につなげた。 ●幼保小等連携専門員が保育施設等を定期的に訪問する過程で、未就学児の情報をいち早く把握することができた。 ●医療的ケアを行う看護師を任用し、医療的ケア児が安心して就学できる環境を整えた。	【○】 困り感の背景にある状況はますます複雑になっており、教育相談員等を起点として、組織として支援する体制、構築が進んだ。 医療的ケア児の対応については今後のニーズも含めての支援体制の継続、新たな構築が必要である。	A: 重点化 B: 要改善 C: 継続 D: 縮小化 E: 廃止

(3) GIGA スクール構想と ICT 教育の推進 **《重点 i》** 【学校教育課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7 年度予算)
①	着実に整備を進めてきた電子黒板や 1 人 1 台端末、無線 LAN 等の環境を生かした ICT 教育を進めることにより、誰一人取り残さない授業を実践し、授業がよくわかる子供を増やし、学習に困り感のある子供を減らすことを目指します。	●情報教育推進員活用事業 (2,770 千円) ●地域おこし協力隊推進事業 (5,000 千円) ●教育用コンピュータ整備事業 (小・中) (8,939 千円) ●教職員用コンピュータ整備事業 (小・中) (25,822 千円)	●整備を進めてきた ICT 環境を授業に生かし、誰一人取り残さない授業実践を進めることができた。 ●特にモデル校に指定した長井小学校では、学習支援ソフトや各種アプリ等を連動させた授業展開等の特長的な授業が行われた。	【○】 1 人 1 台端末の活用等が進み、各校での ICT 活用が深化してきた。 また、授業実践のためには、日常的なメンテナンス等の保守管理が不可欠。機器の不具合が日常的に発生している中で、情報教育推進員や委託業者も含めた ICT 支援チームを機能させ、学校の取り組みを下支えすることができた。	A: 重点化 B: 要改善 C: 継続 D: 縮小化 E: 廃止

(4) 心と体の健やかな成長の推進 【学校教育課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7 年度予算)
①	子供たちの心身の健やかな成長のためには、適切な運動や生活リズムの確立、バランスの取れた食習慣などが大切です。学校と家庭の連携や情報共有によって、子供たちの健康な心と体づくりに取り組みます。	●就学時検査・指導等事業 (705 千円) ●学校保健衛生管理事業 (10,348 千円)	●医療等の専門家である学校医・学校薬剤師等の指導のもと、各種検診や就学時の健康診断等を実施した。 ●PTA との連携により、各校で生活リズム改善に取り組んだ。	【○】 法令に則り、各種検診等を実施することにより、子供たちの健康と成長に寄与することができた。生活リズムは各校の学校保健委員会等でも議論され、取り組みが進められている。	A: 重点化 B: 要改善 C: 継続 D: 縮小化 E: 廃止

(5) 教職員研修の充実と指導力の向上 **《重点 i・ii》** 【学校教育課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7 年度予算)
①	子供たちが持っている可能性を最大限に伸ばすため、現代の教育的ニーズに応えつつ、学習指導力、生徒指導	●学校教育研修所運営事業 (1,221 千円)	●授業改善アドバイザーの派遣事業として、各教科に精通している大学教授を計 15 回招へいし、授業実践や指導法に関する助言を受けることで、	【○】 教科の本質をとらえた授業づくり、授業改善の視点、児童生徒のアセスメント等について、的確且つ継続的に指導	A: 重点化 B: 要改善 C: 継続 D: 縮小化 E: 廃止

	力、特別支援教育力の向上を図るよう各研修を進めていきます。		教員の能力を向上させることができた。	いただいたことで、教職員の専門性の向上につながる貴重な機会となった。	
--	-------------------------------	--	--------------------	------------------------------------	--

基本施策2 子供たちが安全で快適に過ごせる学校環境の整備

(1) 安全・快適な学校環境の整備 【教育総務課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①	教育環境の改善並びに学校教育の円滑・安全な実施のために、以下の事業を行います。 ・小学校施設環境改善事業	【繰越予算】 ●小学校大規模改修事業 (102,600 千円) ・実施設計業務委託料 (6,200 千円) ・工事請負費 (93,000 千円) ・監理業務委託料 (3,400 千円)	安全・安心かつ快適な学校生活を送れるようトイレ改修を行った。 ●小学校大規模改修事業 (決算額 93,060 千円) ・実施設計業務委託料 (5,830 千円) ・工事請負費 (84,700 千円) ・監理業務委託料 (2,530 千円)	【○】 令和5年度第1次補正予算(強靱)にて国庫補助が内定したことにより、致芳小学校校舎及び屋内運動場の便器の洋式化並びに乾式化を図り、避難所機能としても有効活用ができるようになった。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止
②	備品の更新や老朽設備の修繕を行います。 ・学校施設管理事業	●(小)消耗品費 (62 千円) 児童用机天板 ●(小)修繕料 (2,920 千円) ●(中)修繕料 (1,864 千円) ●(小)修繕等工事費 (2,400 千円) ・体育館屋根修繕	●児童用机天板の購入 (62 千円) ●暖房機修繕(長井小、豊田小) オイルサーバー修繕(致芳小) 等 (2,536 千円)	【○】 新たに机天板を購入し、児童の学習環境を整えることができた。 【○】 暖房機、エアコンの突発的な故障が多く、子どもたちや教職員が快適に過ごせるよう速やかに対応した。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

		・消防用設備修繕等 ●(中)修繕等工事費 (520 千円) ・消防用設備修繕等	●体育館エアコン修繕（南中）、暖房ボイラー缶体修繕（北中）、外灯修繕（北中）、等 (1,971 千円)	【○】 設備の修繕を行い、学習環境だけでなく避難所としての環境改善が図られた。	
			●エレベーターバッテリー交換（長井小）、高圧気中開閉器更新（西根小）、体育館屋根修繕（伊佐沢小）等 (2,774 千円)	【○】 老朽化した設備の更新や、使用禁止となっていた遊具を撤去し、学校環境の改善を図った。	
			●理科室、職員室エアコン修繕（南中）等(474 千円)	【○】 快適で安全な学校生活を送れるよう、速やかに修繕を行った。	

(2) 安全安心なスクールバスの運行 【教育総務課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7 年度予算)
①	登下校及び校外活動等の送迎や、安全に運行するための車両の維持管理を行います。 ・スクールバス運行事業	●スクールバス運行事業 (28,620 千円) ・運転業務委託料 (19,356 千円) ・維持管理経費 (9,264 千円)	●スクールバス運行事業 (27,049 千円) ・運転業務委託料 (18,469 千円) ・維持管理経費 (8,580 千円)	【○】 登下校の運行に加え、生涯学習プラザを活用したプール授業への輸送や熱中症対策として夏期休業中の登下校便の運行を実施した。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

(3) 安全でおいしい給食の提供【給食共同調理場】

①調理場の運営と給食の提供

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①	米飯給食を中心として主食・主菜・副菜を基本に、多様な食品をバランスよく組み合わせた献立づくりや副食の充実に努めるとともに、児童生徒の生活習慣病の予防や健康増進を図ります。	●学校給食費負担金 (3,962千円) ●栄養管理ソフト保守料 (60千円) ●等級格差経費負担金 (434千円) ●学校給食費負担軽減支援事業費補助金 (16,274千円)	●質の高い学校給食を提供するための経費 (3,778,440円) ●栄養管理ソフトを活用した献立の作成に係る経費 (141,900円) ●長井産はえぬきレインボープラン認証米を提供するための経費を市が負担(902,133円) ●保護者負担を据え置き物価高騰に対応するための経費 (23,137,570円)	【○】 物価高騰に伴う対応として保護者負担を据え置き、市が今後も負担していくことから経費が増えていくことが想定される。 【○】 生産者や関係する事業者と連携し、地産地消を推進していく体制が動き始めた。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止
②	新設された学校給食調理場での安全で安心・おいしい給食を提供します。 「学校給食衛生管理基準」・「大量調理施設衛生管理マニュアル」を遵守し、安全・安心な食材の確保と調理運営等に努め、給食を休止することがないよう施設設備の維持管理、調理・搬送等の運営に努めます。	●各種衛生検査及び従事職員の衛生管理の徹底 ●PFI 運営委託料 (100,842千円) ●PFI 維持管理委託料 (36,275千円) ●PFI 維持管理・運営モニタリング業務委託料 (2,024千円)	●調理場関係者の検便等検査の実施(239,833円) ・検便検査:24回 ・ノロウイルス検査:6回 ●食品検査の実施 (94,050円) ●PFI 運営委託業務 (100,286,624円) ●PFI 維持管理業務 (36,274,440円)	【○】 PFI 事業者として国の衛生基準に基づき、食の安心安全を最優先とした運営及び維持管理に努めており、結果大きな事案もなく給食を提供できた。 【○】 万が一、施設内にて感染症などの発生が確認された場合の対応として、危機管理及び衛生管理体制が整備や職員研修等の開催により従事者の意識醸成を図っている。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止
③	食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した学校給食を、安全性を最優先に提供します。	●食物アレルギー研修会の実施 ●「長井市食物アレルギー対応ガイドライン」に基づく運用の周知徹底	●食物アレルギー対応の児童生徒数(10名) 幼児5名 ●食物アレルギー対応検討委員会及び対応食検討委員会の開催	【○】 4月当初のガイドライン説明会から学校単位のシミュレーション等を通して学校、家庭、調理場が共	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化

		●アレルギー事故防止のための 情報提供	●対応がトライイン説明会の開催	通理解の下、安心安全な給食 の提供ができています。 【○】 新たな事案が確認された場合 でも専門医の指導の下がト ライインの修正や保護者との面談な ど迅速に対応できている。	E:廃止
--	--	------------------------	-----------------	--	------

②食育・地産地消の推進

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①	生涯を通じた健全な食生活 の実現、食文化の継承、健 康の保持増進を図り、自ら の食について考える習慣、 様々な知識や食を選択する 判断力を楽しく身に付かせ るよう食育の推進に努めま す。	●栄養教諭を中核として、 学校と連携し、児童生徒 に対する食育指導及び保 護者等への食育の啓発の 推進 ●調理場から各学校に給食 に係るお知らせ、クイズな どの提供 ●調理場だよりの発行 (100 千円) ●バイング給食、セレクト給食等 の実施	●児童生徒及び保護者等に対 する食育指導の実施 ●毎月の調理場だより、一口 メモの発行 ●地産地消の日給食、バイン グ給食（小学6年、中学3年 対象）の実施 ●地元食材を活用したメニューや 郷土料理などの提供 ・JA まんぷく給食：米沢牛 を使用したいも煮給食 ・高橋鯉屋：鯉給食 ・JA 西瓜部会：伊佐沢西瓜 給食など	【○】 児童生徒の食に関する興味関 心や食習慣の形成を図るた め、調理場だよりや一口メモ の内容の充実に努め、保護者 や教職員に対しても周知を図 った。 【○】 生産者や関係する事業者から 学校給食の提供の趣旨を理解 いただき、様々な食材の提供 をうけて特別給食として提供 することができた。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止
②	地域の特産物を知り、地元 に愛着を持つ児童・生徒の 育成に努め、地元産食材を 活用した給食内容の充実に 図ります。	●関係機関との連携を図り ながら、地元食材の積極 的使用 ●まるごと長井給食負担金 (510 千円) ●レインボープラン認証栽培米等	●地産地消の積極的な取り組 み ・県産農産物使用割合 50.7% ・市内農産物使用割合 37.3% ●長井産レインボープラン認証米の 活用（約 32,000kg）	【○】 山形県や長井市の補助金の活 用や関係者からの寄付等によ り地元食材を使用した食の充 実が図られた。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

		供給経費負担金 (576 千円) ●地産地消促進事業費補助金 (439 千円)	●まるごと長井給食の実施 ・長井産米沢牛ステーキ給食ほか ●（仮称）地産地消を考える会の立ち上げ	【○】 長井市食育推進計画に基づき、学校給食における地産地消を進めていく関係者会議を立ち上げ、現状と課題を確認し、今後の方向性を共有し、共通理解を図った。	
--	--	---	--	--	--

目標 2 学校・家庭・地域が連携・協働するやさしいまち

基本施策 3 学校と地域が共に子供を育む教育の推進

(1) スクール・コミュニティの推進 **《重点 iii》** 【学校教育課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7 年度予算)
①	学校が子供と大人が共に学び成長できる場や人と人がつながるコミュニティ活動の場となることを通して、学びと交流の好循環が生まれ、地域全体が活性化していくスクール・コミュニティの取り組みを進めています。	●コミュニティ・スクール推進体制構築事業 (1,042 千円)	● 各学校の学校運営協議会で学校の運営方針の承認や学校課題の共有、協議等が行われた。 ● スクール・コミュニティの推進に向けて、先進地視察やモデル校による活動が進められた。	【○】 学校運営協議会の熟議において、学校や地域の中でどんな子供たちを育みたいかが話し合わせ、具体的な対応策の検討、実践が進められた。 【○】 スクール・コミュニティのモデル校では、地域との新たな連携体制の検討を進め、令和 7 年度からより密接に学校と地域が連携できる体制の構築を図ることができた。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

(2) 地域と学校の協働活動の充実 【地域づくり推進課生涯学習推進室】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7 年度予算)
①	子ども会育成会連絡協議会による体験活動を通して、子ども達の生きる力を育むとともに、子ども達の健全育成、他校児童との交流の場づくりを行っていきます。	●地域の子ども会活動の推進 ・子ども会育成会連絡協議会事業補助金 (160 千円)	●ジュニアリーダー研修会 年度当初の計画通り、年 4 回の研修会を開催することが出来た。研修や宿泊活動などを通じて、次世代の人材育成につなげることができた。	【○】 ジュニアリーダー研修会を計画通り 4 回開催し、ジュニアリーダーの児童・生徒に体験活動の機会を提供することができた。また、県開催のイベントにも積極的に参加をし、他団体との交流が図られた。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止
②	地域学校協働本部事業などをおして、地域と学校がパートナーとして相互に連携・協働する体制を強化してい	●地域と学校の協働活動の充実 ・学校支援活動事業 (8,854 千円)	●地域学校協働本部事業 市内全小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、本事業のスムーズな運営を行っ	【○】 地域学校協働活動推進員による活動の工夫により、地域ボランティアの参加が促され、児童	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化

	きます。		た。具体的な内容としては、地区と学校が一緒に行う地区運動会や地域住民が生徒に行う伝統芸能の指導などであり、学校の中の体制にとどまらず、地域の方と触れ合うことで多くの連携が図られた。また、伊佐沢地区の推進員の活動について県の研修会で事例発表を行うなど、長井市の同事業の周知が県全体に図られた。	生徒の社会学習の推進、地域伝統文化の継承等を行うことで、地域教育力の向上が図られた。 【△】 一方で、引き続き、地域ボランティアや協力者の確保が課題となっており、新たな人材の発掘が必要。また、推進員の後継者を見つけるための人材の発掘もしくは他団体との連携による仕組みの構築が必要。	E:廃止
--	------	--	---	--	------

(3) 家庭と地域の教育力の向上【地域づくり推進課生涯学習推進室】

①家庭教育の充実

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①	学校教育サイトの幼・保・小連携の取り組みに併せ、まちづくり青少年育成市民会議、PTA、コミュニティセンター、及び市の関係課等と連携し、子育て支援と家庭教育力、地域教育力の向上に向けた施策を進めていきます。	●学習機会の提供 ・家庭教育支援事業 (292 千円) - 子育て講座の実施 - 幼児共育事業等の実施 ●家庭教育情報の提供 ・家庭教育に関する情報の提供	●子育て講座 市内 6 小学校で実施した。中学校では西置賜 PTA 連合会の研修会があったため当事業での講座は行われなかったが、同様の活動が行われたとみなし、市内小中学校で家庭教育の情報共有に繋がった。 ●幼児共育事業 昨年度より 1 施設少ない 5 施設の実施となったが、複数行った施設もあり、事業回数は前年よりも多い 9 回となった。 ●家庭教育情報の提供	【○】 小学校では就学時健診等に併せて開催することで、保護者に広く参加してもらうことができた。幼児共育事業では親子参加を基本とし、家庭ではできないふれあいができた。 【○】 家庭教育についての情報を広く周知し、保護者の意識を啓発し、家庭の教育力向上につながった。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

			県で作成している子育て5カ条リーフレットの配付を各種イベントや学校行事にて配布を行い、周知を図れた。		
--	--	--	--	--	--

②地域教育力の向上

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①	学童保育事業との連携の下、土曜らんどや平日の放課後子ども教室を推進し、子ども達の居場所をつくりながら地域の方が持つ地域教育力の向上も見込みます。	●地域教育力の向上 ・放課後子ども教室事業 (2,811千円)	●放課後子ども教室（土曜らんど事業） 各地区に配置しているコーディネーターや推進委員長を事業活動の中心として置き、子供たちの学校だけでは経験することが出来ない多種多様な事業を実施することが出来た。また、地域の特色を生かした事業を行ったことで、子供たちが住んでいる地域の愛着醸成にも寄与した。	【○】 市内各地区で地域の特色を生かした活動が行われた。活動の周知も進み、子ども達の参加人数も増えている。 【△】 他地区の活動に参加する人数が増えていない。また、参加する学年に偏りがある。自分の地区だけではなく市内すべての子どもを対象にし多くの学年の児童の興味を湧きたてる事業を展開できるような仕組みを来年度に向けて検討。	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

(4) 中学生のスポーツ・文化活動の地域連携 **《重点Ⅲ》**【学校教育課】

番号	重 点	主 な 施 策	取組状況・実績値	評 価【○/△/×】	事業方針(R7年度予算)
①	中学生にとって望ましいスポーツや文化活動を維持していくため、その在り方を学校と地域が共に検討し、一体となった推進体制を構築していきます。	●小中学校各種大会出場費補助事業 (3,500千円) ●部活動振興事業 (3,727千円) ●中学校部活動指導員配置事業 (地域スポーツクラブ活動体制)	●中学生の活動を支えるため、県中体連大会以上の大会等に参加する際に、必要経費の補助を行った。令和6年度から、部活動の地域展開の推進にあたり、地域クラブ等が大会に参加する際にも同様に補助を行った。 ●部活動指導員の配置、部活	【○】 大会補助金の支出により、保護者の負担軽減を図り、学校・地域クラブ等の別なく、子供たちの大会等での頑張りを支えることができた。 【○】 市内中学校への部活動指導員の配置により、教職員の勤務	A:重点化 B:要改善 C:継続 D:縮小化 E:廃止

		整備事業含む) (1,295 千円)	動地域展開に向けた実証事業 等を実施した。	時間の削減等につなげた。	
--	--	-----------------------	--------------------------	--------------	--